

2019年2月期

## 決算説明資料

2019年4月15日

## 古野電気株式会社

### 注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

## ◆ 売上：増加

日本・北米・欧州・アジア地域における船用事業の売上が伸長、通信・GNSSソリューション事業好調により増収。

## ◆ 利益：増益

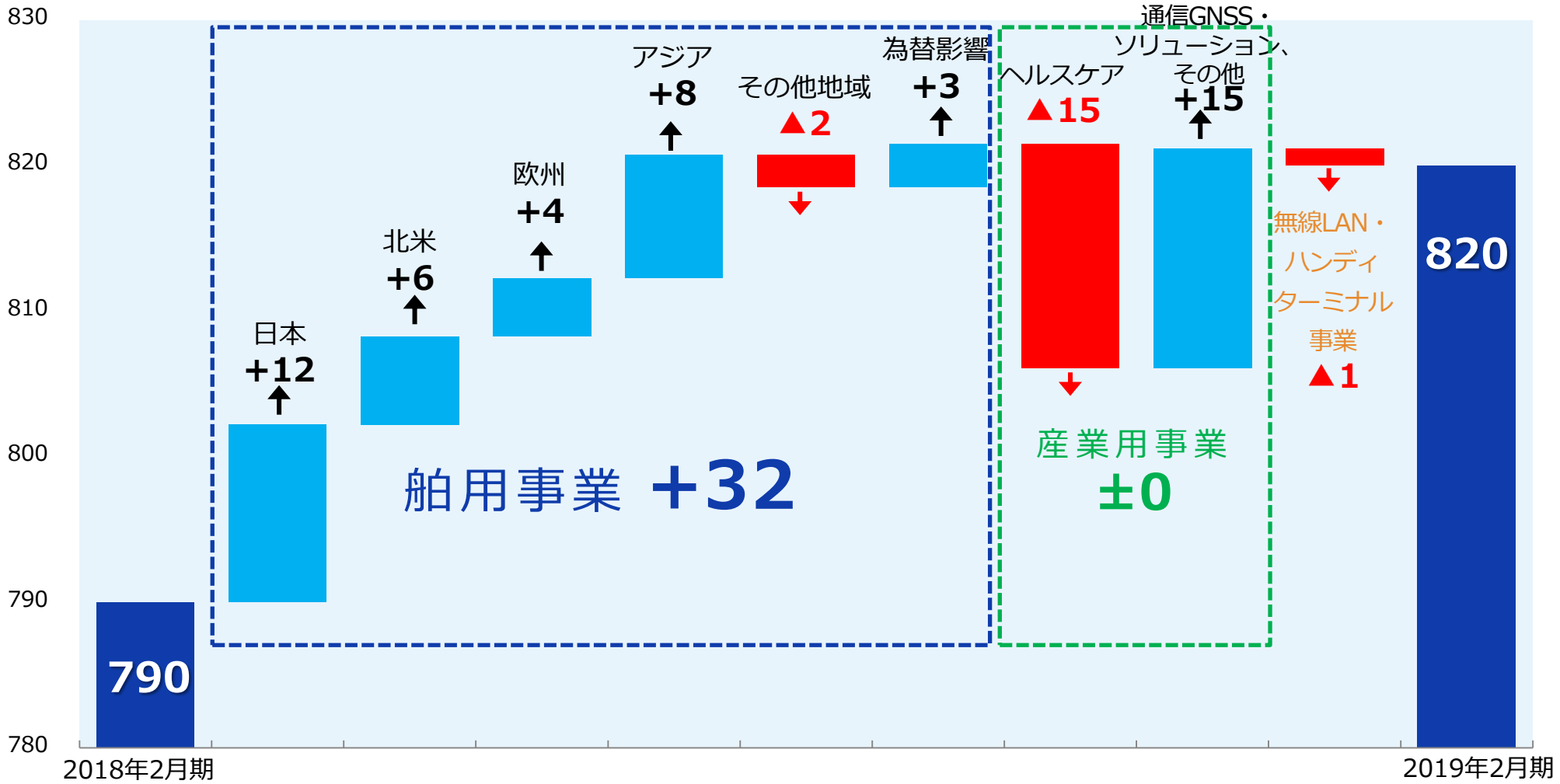
生産効率改善、製品構成の変化等により売上高総利益率が向上。

(単位：百万円)	2018年2月期	2019年2月期	増減比 (額)	増減比 (率)
<b>売上高</b>	79,050	<b>82,108</b>	+3,058	+3.9%
<b>売上総利益</b>	28,233	<b>31,612</b>	+3,379	+12.0%
(対売上高比率)	(35.7%)	(38.5%)	(+2.8)	
<b>営業利益</b>	1,992	<b>4,771</b>	+2,779	+139.5%
(対売上高比率)	(2.5%)	(5.8%)	(+3.3)	
<b>経常利益</b>	1,857	<b>5,112</b>	+3,225	+175.3%
(対売上高比率)	(2.3%)	(6.2%)	(+3.9)	
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	1,236	<b>4,026</b>	+2,790	+225.5%
(対売上高比率)	(1.6%)	(4.9%)	(+3.3)	
<b>研究開発費</b>	4,470	4,707	+237	+5.3%
(対売上高比率)	(5.7%)	(5.7%)	(+0.1)	
<b>設備投資額</b>	3,036	2,595	▲441	▲14.5%
(対売上高比率)	(3.8%)	(3.2%)	(▲0.7)	
<b>減価償却費</b>	3,225	3,093	▲131	▲4.1%
(対売上高比率)	(4.1%)	(3.8%)	(▲0.3)	
(単位：円、期中平均レート)				
<b>為替 (対ドル)</b>	112	111	▲2	▲1.4%
<b>為替 (対ユーロ)</b>	127	130	+4	+2.8%

# 売上高の増減分析

(単位：億円)

※億円未満を四捨五入により表示



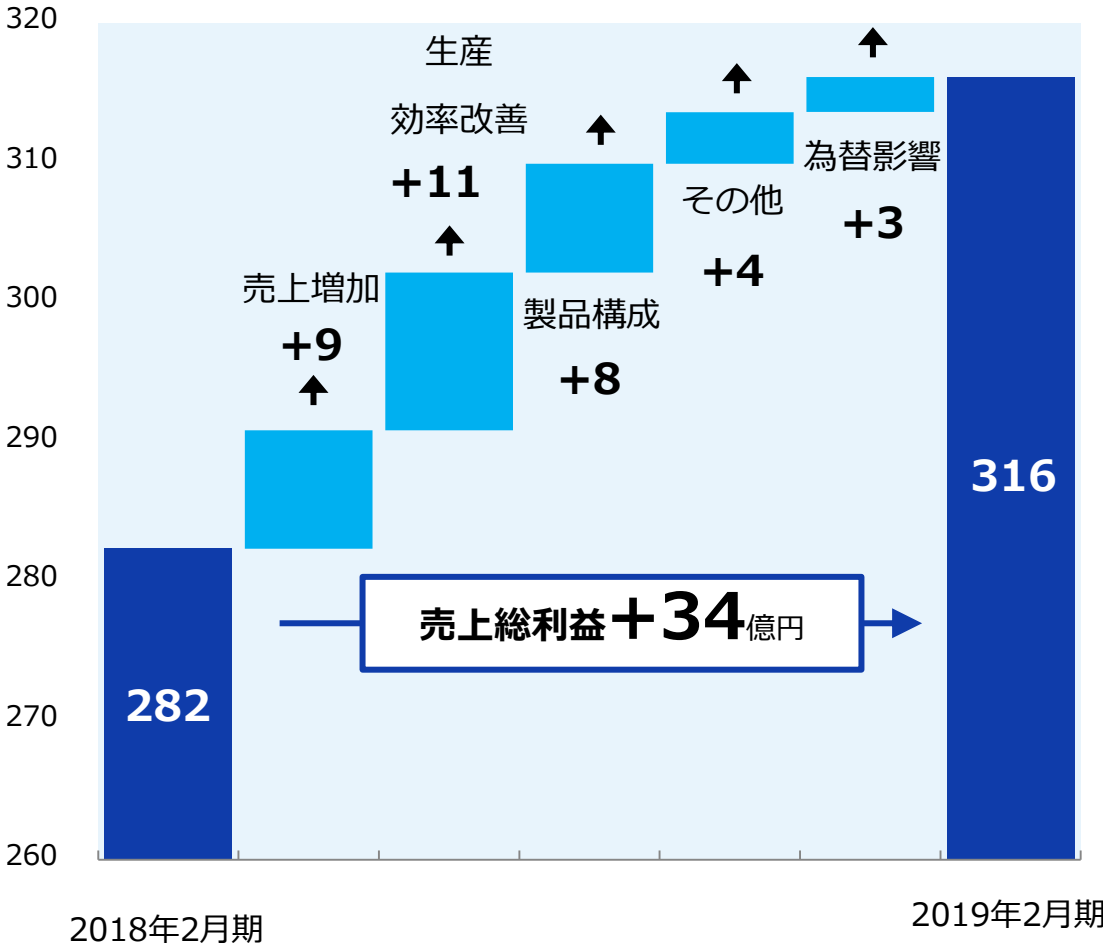
- 日本・北米・欧州・アジアで船用事業が増収
- 為替がプラス方向に影響
- 通信・GNSSソリューション事業が好調

※ 為替感応度 (2019年2月期実績値)  
 【ドル】売上高1.2億円、営業利益0.5億円  
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

※億円未満を四捨五入により表示

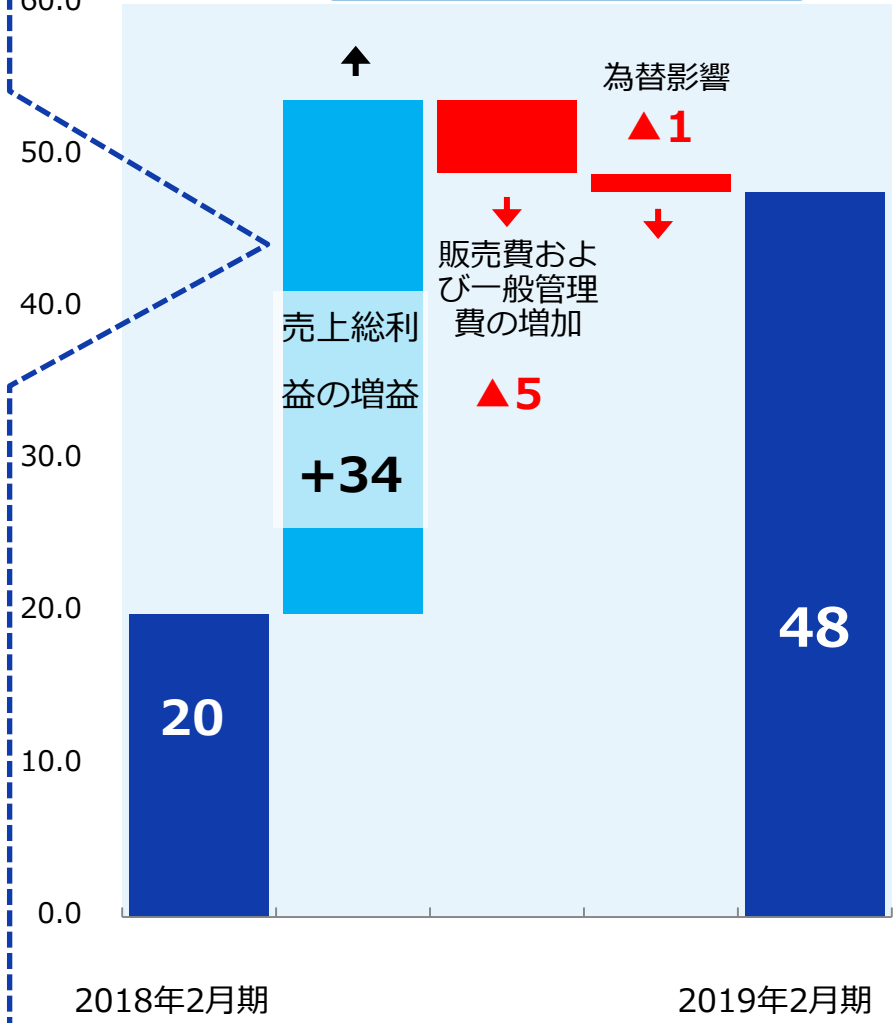
## 売上総利益の増減分析

(単位：億円)

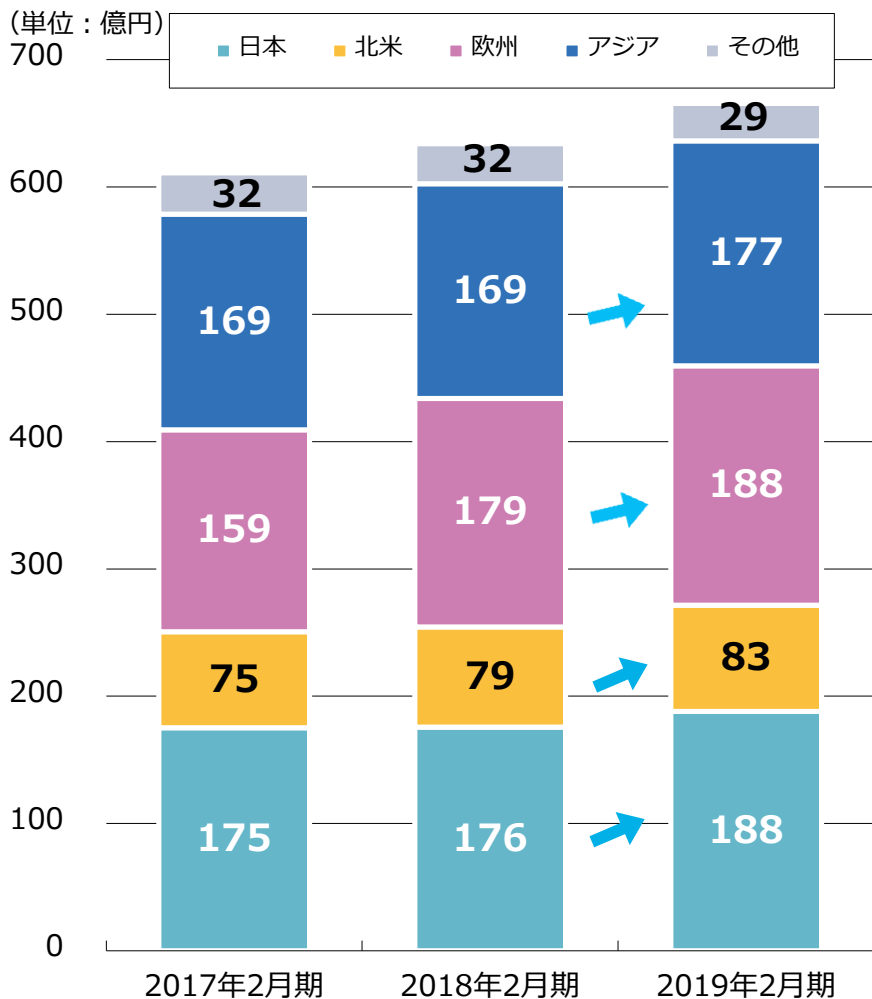


## 営業利益の増減分析

(単位：億円)



## 船用事業・連結売上高 (累計・地域別)



## 船用事業：

売上高 **666**億円 (前年同期比 **+5.0%**)

セグメント利益 **39**億円 (+**32**億円)

⇒ **日本・北米・欧州・アジアで増収**

⇒ **生産効率改善・製品構成の変化・販管費、主にシステム償却負担軽減等により大幅増益**

◆ **日本：売上高 188**億円 (**+7.0%**)

▶ 商船新造船向けは低位安定も  
漁業向けおおむね堅調、その他向けが増収

◆ **北米：売上高 83**億円 (**+6.0%**)

▶ 漁業向け中心に引き続き堅調

◆ **欧州：売上高 188**億円 (**+4.9%**)

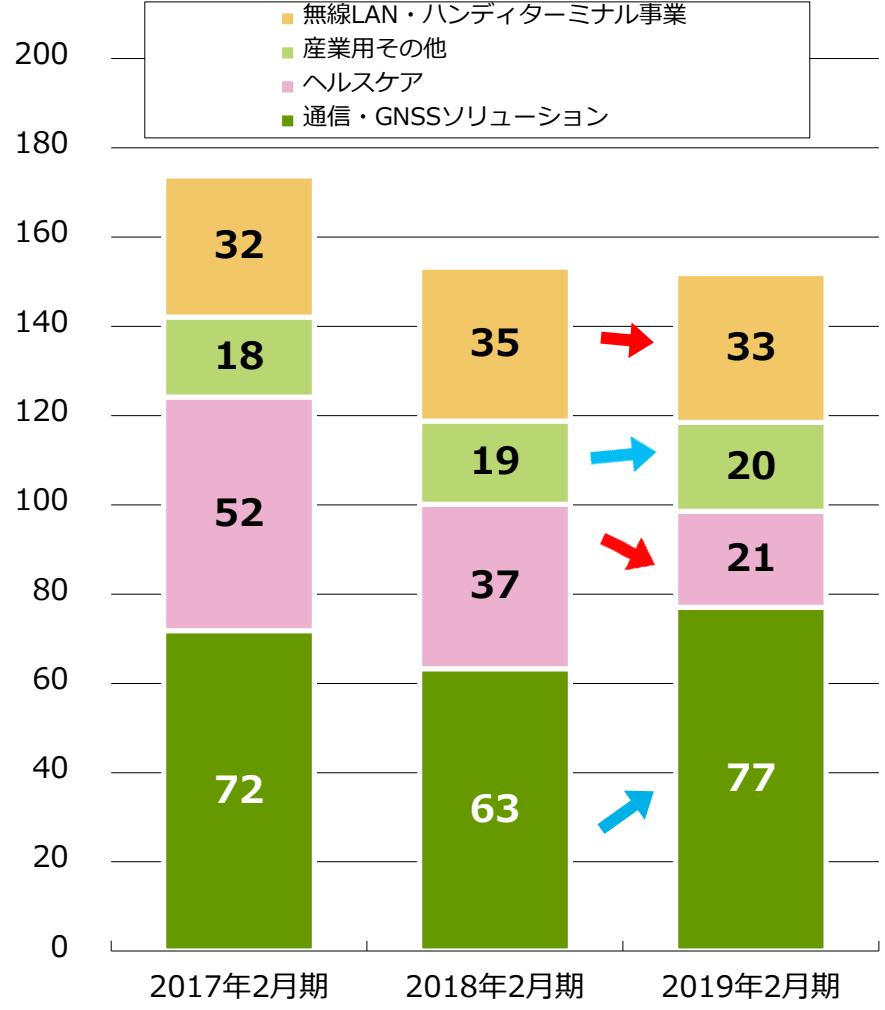
▶ 商船のうち特に換装向け続伸  
漁業向け引き続き堅調

◆ **アジア：売上高 177**億円 (**+4.7%**)

▶ 商船のうち新造船向けは底打ち  
換装向けが拡大

## 産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）

（単位：億円）



**産業用事業：**  
 売上高 **118**億円（前年同期比 **▲0.3%**）  
 セグメント利益 **3.3**億円（**▲2.6**億円）  
 ⇒ **通信・GNSSソリューション事業は受託事業が引き続き好調**  
 ⇒ **ヘルスケア事業は大幅な減収に伴い減益**

- ◆通信・GNSSソリューション事業：  
 売上高 **77**億円（**+21.7%**）  
 ▶ 受託事業及び周波数発生装置の売上が増加
- ◆ヘルスケア事業：売上高 **21**億円（**▲41.7%**）

**無線LAN・ハンディターミナル事業：**  
 売上高 **33**億円（前年同期比 **▲3.3%**）  
 セグメント利益 **4.4**億円（**▲1.3**億円）  
 ⇒ **無線LANアクセスポイントは堅調に推移**  
 ⇒ **ハンディターミナルは更新需要の谷間で低調**  
 ⇒ **販売力・技術力強化のための先行投資に伴い減益**

# 2020年2月期 業績予想と 中長期事業展開



# FURUNO GLOBAL VISION NAVINEXT 2030

事業ビジョン ; 安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現

人財・企業風土ビジョン ; VALUE through GLOBALIZATION and SPEED

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年度目標 ; 連結売上高1,200億円、営業利益率10%、新規事業構成比率30%

## FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT 2030”

### 1. 船用事業

『船用電子機器を核とした 海洋総合企業として、創造と革新に満ちた事業活動を通じて、海洋に関わる顧客の安全・安心な航海の実現と海洋文化の発展に寄与する』

→ 船用電子機器分野のリーディングカンパニーであり続けるため、強みを持つ市場で確実に利益を生み出しながら、将来に向けた先行投資を加速。

### 2. PNT事業 ( Positioning・Navigation・Timing ※事業領域を見直し、通信・GNSSソリューション事業から名称変更)

『「人・モノ・モビリティ」の位置と時間に、創造価値を加えた製品・サービスでグローバルにインフラと都市を支える』

→ セグメントの枠組みを超え、強みを掛けあわせた新製品群の創出や、サービスで稼ぐ事業への転換。

### 3. ヘルスケア事業

『医療現場に寄り添って早期診断ソリューションを創造し、人々の健康と福祉の向上に貢献する』

→ 重点エリアを定め、顧客に寄り添うことで地域特性に合ったソリューションを提供。

### 4. 無線LAN事業

『「快適無線」で、つながる、ひろがる社会を実現』

→ 文教市場におけるトップシェアを堅持しつつ、新たな商材や販路を開拓。

(単位：百万円)	2019年2月期	2020年2月期	増減比 (額)	増減比 (率)
<b>売上高</b>	<b>82,108</b>	<b>82,000</b>	<b>▲108</b>	<b>▲0.1%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>31,612</b>	<b>31,500</b>	<b>▲112</b>	<b>▲0.4%</b>
(対売上高比率)	(38.5%)	(38.4%)	(▲0.1)	
<b>営業利益</b>	<b>4,771</b>	<b>4,000</b>	<b>▲771</b>	<b>▲16.2%</b>
(対売上高比率)	(5.8%)	(4.9%)	(▲0.9)	
<b>経常利益</b>	<b>5,112</b>	<b>4,000</b>	<b>▲1,112</b>	<b>▲21.8%</b>
(対売上高比率)	(6.2%)	(4.9%)	(▲1.3)	
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	<b>4,026</b>	<b>3,000</b>	<b>▲1,026</b>	<b>▲25.5%</b>
(対売上高比率)	(4.9%)	(3.7%)	(+1.2)	
<b>研究開発費</b>	<b>4,707</b>	<b>4,500</b>	<b>▲207</b>	<b>▲4.4%</b>
(対売上高比率)	(5.7%)	(5.5%)	(▲0.2)	
<b>設備投資額</b>	<b>2,595</b>	<b>2,500</b>	<b>▲95</b>	<b>▲3.7%</b>
(対売上高比率)	(3.2%)	(3.1%)	(▲0.1)	
<b>減価償却費</b>	<b>3,093</b>	<b>3,000</b>	<b>▲94</b>	<b>▲3.0%</b>
(対売上高比率)	(3.8%)	(3.7%)	(▲0.1)	
(単位：円、期中平均レート)				
<b>為替 (対ドル)</b>	<b>111</b>	<b>110</b>	<b>▲1</b>	<b>▲0.6%</b>
<b>為替 (対ユーロ)</b>	<b>130</b>	<b>125</b>	<b>▲5</b>	<b>▲4.1%</b>

(単位：円)	第2四半期末	期末	年間	配当性向
2018年2月期	4円	6円	10円	25.5%
2019年2月期	10円 ※記念配当を含む	15円	25円 ※記念配当を含む	19.6%
2020年2月期 (予想)	10円	10円	20円	21.0%

※2019年2月期の中間配当金には、創立70周年記念配当金5円が含まれております。

船用事業・連結売上高  
(累計・地域別)

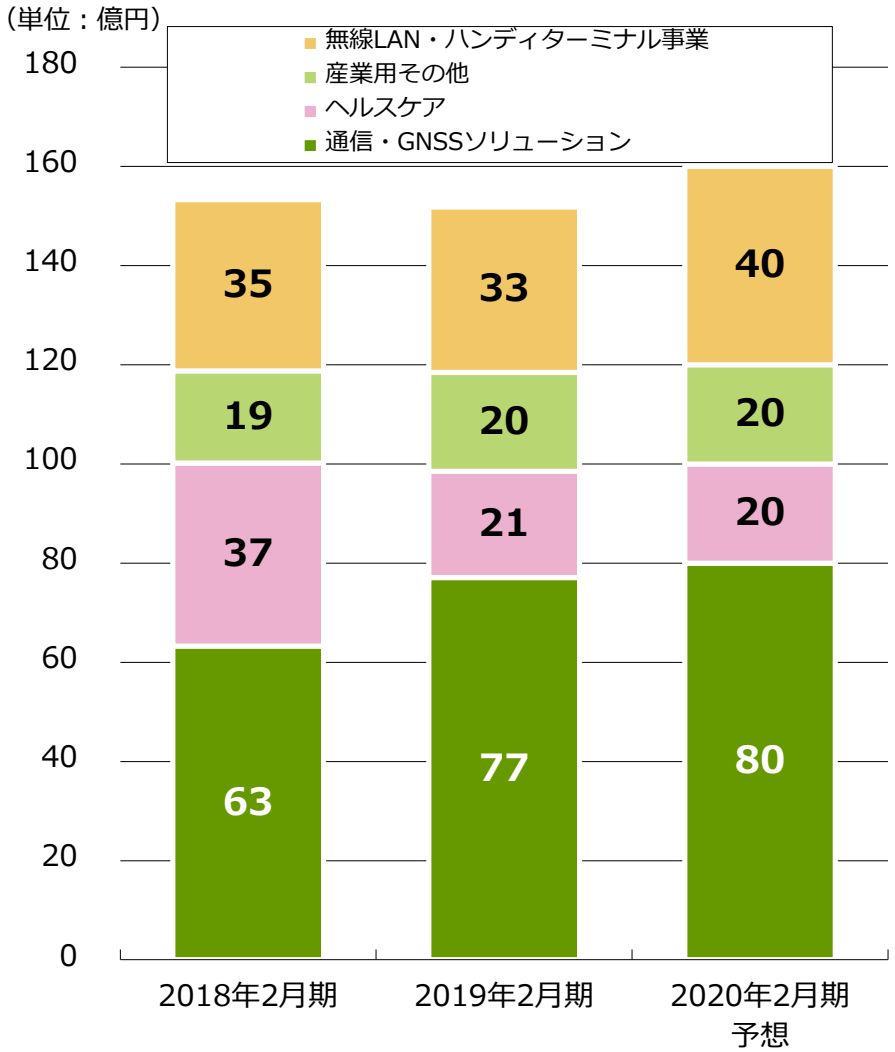


2020年2月期業績予想

**船用事業：**  
 売上高 **660**億円  
 セグメント利益 **32**億円

- ◆日本：売上高 **180**億円
  - 商船新造船向けは低位安定、漁業向け堅調
- ◆北米：売上高 **80**億円
  - 漁業向け引き続き堅調
- ◆欧州：売上高 **190**億円
  - 商船換装向けの好調維持
- ◆アジア：売上高 **180**億円
  - 商船新造向けの回復期待、換装向けの好調維持

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業  
連結売上高（累計・製品群別）



2020年2月期業績予想

**産業用事業：**  
 売上高 **120**億円  
 セグメント利益 **3**億円

- ◆通信・GNSSソリューション事業：  
 売上高 **80**億円  
 ▶ ソリューションビジネスおよびチップ・モジュールの拡販に注力
- ◆ヘルスケア事業：  
 売上高 **20**億円  
 ▶ 重点地域における中小型生化学分析装置拡販に転換

**無線LAN・ハンディターミナル事業：**  
 売上高 **40**億円  
 セグメント利益 **5**億円  
**無線LANアクセスポイントの拡販とハンディターミナルの売上回復を見込む**

# トピックス

## シングルバンドで時刻精度4.5ナノ秒(1 $\sigma$ )のGNSSレシーバを開発・販売

第5世代移動通信システム（5G）や次世代送電網（スマートグリッド）などで高精度な時刻同期（UTC同期）を必要とするユーザーに向けて、GNSSタイミングモジュール「GT-88」と、GNSS基準周波数発生器「GF-88シリーズ」を開発。2019年4月より販売を開始しました。

本商品は、GNSS衛星から送信されるL1（1575.42MHz）の信号を受信するだけで、時刻同期精度4.5ナノ秒（1 $\sigma$ ）<sup>（注1）</sup>を達成する時刻同期用シングルバンドGNSSレシーバです。

日本電信電話株式会社（NTT）が考案したマルチパス対策アルゴリズムの「ダイナミック・サテライト・セレクトション™」を搭載しており、市街地はもちろん、今までは遮蔽などの条件が厳しすぎて設置が難しかったビルの壁面や、屋内の窓際などでもアンテナを設置できるようになります。

当社は今後も、通信や放送、電力などの、高精度・高信頼性が求められる分野で、施設運用者が安心して時刻同期を利用できるよう、技術開発を進めてゆく方針です。

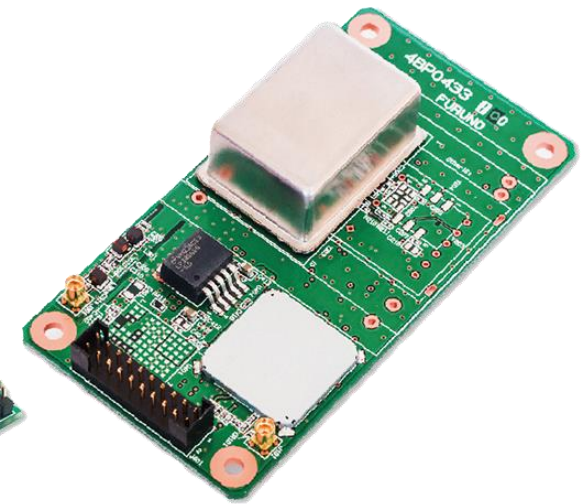
注1) 1ナノ秒は10億分の1秒、1 $\sigma$ は精度のばらつき具合を表します。



GT-88



GT-8802



GT-8805



## GLONASS対応版のGNSS自動変位計測システム「DANA」を販売開始

当社は、GNSS自動変位計測システム「DANA」について、GLONASSに対応した新製品「MG-100」シリーズを4月より販売開始しました。

本製品は、従来製品（MG-87シリーズ）でのGPS、QZSS（準天頂衛星システム）に加え、オプションでGLONASSも同時使用することができます。より多くの衛星信号を使用することで、GPS信号の遮蔽が発生しやすい北向き斜面の環境においても、GLONASSを同時使用することで測位の安定性を向上します。

当社では、IoTインテグレーション事業を展開するエコモット株式会社と、防災分野を中心とした土木構造物や人工構造物の施工管理・維持管理に関して協業し、「DANA」を活用したクラウドソリューション「DANA CLOUD™」も提供しています。



「DANA」外観  
（写真左：GNSSセンサー、写真右：ソーラー電源）

# 補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2019年2月28日現在



<b>社名</b>	古野電気株式会社
<b>本社所在地</b>	兵庫県西宮市
<b>設立</b>	1951年 (昭和26年)
<b>事業内容</b>	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
<b>資本金</b>	7,534 百万円
<b>代表者</b>	古野 幸男
<b>上場取引所</b>	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

## 安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

